

会 議 録

1 会議名

令和6年度第4回保倉区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【報告事項】

- ・地域協議会ファシリテーション研修について（公開）

【自主的な審議】

- ・地域の活性化につながる取組について（公開）
- ・今後の自主的審議の進め方について（公開）

3 開催日時

令和6年9月10日（火）午後6時00分から午後7時25分

4 開催場所

上越市立保倉地区公民館 研修室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 神村大輔（会長）、白田 修（副会長）、青木重一、秋山廣明、梅澤 博、
佐藤 司、高島和栄、中島 功、藤田一彦、巻内 勉、八木 隆

（欠席者1名）

- ・事務局： 北部まちづくりセンター：佐藤所長、近藤副所長、石崎係長、丸山主任

8 発言の内容

【近藤副所長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【神村会長】

- ・挨拶

- ・会議録の確認：中島委員、藤田委員に依頼

議題【報告事項】地域協議会ファシリテーション研修について、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

先日8月1日に上越市地域政策課の主催で、会長及び副会長を対象とした地域協議会ファシリテーション研修が行われ、神村会長、白田副会長からご出席いただいた。この研修は、会議を円滑に進める技術の習得を目的として開催されたもので、会議の終了後は正副会長意見交換会も実施された。こちらについて、神村会長から委員の皆様へ研修等の内容を簡単に報告をお願いしたい。

【神村会長】

- ・ファシリテーション研修について報告

8月1日に白田副会長と二人で出かけた。高田のミュゼ雪小町へ東京からファシリテーションの講師が来て、4時間にわたって研修を受けた。大切なことは、ファシリテーションとは何かということ、会議を円滑に進めるための技術だということだが、ではどうしたらいいのかということ、一人一人が思いやりの気持ちを持って、メンバーの皆さんの顔を伺いながら話し合いを進めていけば、うまくまとまるのではないかというような話であった。

そのあと、地域協議会の情報交換会が1時間ほどあり、夕方6時ぐらいまで会議が続いたが、グループに分けられ、高田の金谷地区、清里区の正副会長と一緒に話し合いをした。金谷地区は規模が大きく、お互いにこんなことをやっているという話をする程度だったが、清里区は、比較的規模や条件が保倉区と似ているのか、割と話は通じた。その中で私が印象に残ったのは、清里区では、グループワークを結構取り入れているということであった。小グループで話し合いをすると、ざっくばらんに順番などと言わずに声が出しやすくなる。

そんなことから、今日の後半でそのような時間を取らせていただこうと思っているが、今後はそういうものも入れながら、多くの人たちから積極的に話していただける時間になればと思っている。

そういった意味では、今回の研修は意味のある研修だったと感じている。

【丸山主任】

白田副会長、一言あるか。

【白田副会長】

ファシリテーションは、要するに話し合いを円滑に進めて、いろいろ意見を出し合っ
て、より良い方向に意見をまとめるというような、これはなかなか言葉で言うほど簡単
ではないという感じがした。自分の意見をまとめるのに精一杯で、とても人の様子を見
る余裕がないというのが正直な気持ちだった。

ただ、やっていく上では大事なことなので、できる、できないは別として、少しでも
そういう意識をしながらやっていく、取り組んでいく、一つでも二つでもできることか
らやる、こういうことが大事ではないかという気がした。

【神村会長】

ただいまの報告について、質問を求めるがなし。

次に、【自主的な審議】地域活性化につながる取組について、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

- ・参考資料「地域活性化につながる取組『保倉歩こう会』を成功させるために」

参考資料（別紙）『保倉歩こう会』～楽しく歩こう、保倉を知ろう～ 企画内容」に
基づき説明。

会長から補足説明をお願いしたい。

【神村会長】

これについて、先行して役員で話し合った中で考えた内容を若干説明させていただく
が、取組の名称は『保倉歩こう会』～楽しく歩こう、保倉を知ろう～というように、
キャッチフレーズ的な形で打ち出してみた。

目的は、健康増進のために歩く。保倉地区の人同士楽しく語り合いながら、地域住民
としての親睦を深める。地域の自然や歴史、施設等を見学し、地域を愛する気持ちを育
てるというようなことを設定をした。

令和7年10月11日土曜日、えちご・くびき野100kmマラソンの開催されない
年には、ここで一つ保倉住民が一堂に集まるイベントを打って出るという内容を考えた。

予算は、飲み物、お菓子、印刷代、保険料等。それに加えて、のぼり旗について相談
したい。のぼり旗は、安全に歩くために必要だと考えている。また、保倉まちづくり振
興会が何か行事をやっているとき、例えばラジオ体操のとき、花苗の配布のとき、保倉
の住民にも「今日はみんなが集まってなにかやっている」ということを周知する意味で、
是非のぼり旗を10本作りたい。のぼり旗10本を作っておけば、10年ぐらいは何か

やるときには出して使えるのではないか。保倉公民館で管理していただいて、行事のときに出して使うといった形で考えている。提案者である地域協議会の皆さんから後程意見をいただければありがたい。以上が予算説明である。

参考資料を1枚めくっていただきたい。

今のところ考えている日程としては、午前中の半日で終了したいと思っていたが、少し早めに集まらないと昼にここに帰って来られないと思う。保倉小学校に集合していただき、保倉小学校の駐車場を借りて車を停めてもらう。開会式の後、保倉小学校を8時45分に出発し、長岡に到着。長岡の神社、町内会館前あたりで少し休憩をさせていただく。飲み物を給水する程度で、長居はしない。その間、歩く時間は20分ぐらいではないかと思う。10分くらい休憩を取った後、三和区の一部を通りながら駒林のほうへ行き、劔神社の境内で腰を下ろしてゆっくり休んでもらう。おやつを食べてもらったりしながら、少し休憩をする。10時20分に駒林を出発し、小泉に向かって歩いて行く。小泉の町内からリサイクルパークへ移動して、リサイクルパークで休憩を取り、外側から様子を眺めたりする。中には入らずに、こういう施設があるということを見ていただく。最後にリサイクルパークから小泉、長岡新田を通って、保倉小学校に戻るというようなプランを考えてみた。

当日雨が降って、遠足をするような天気ではない場合は、保倉小学校の体育館を借りて、体育館でしばらく遊ぶ。子供にとっては休み時間にやっているような、手つなぎ鬼等の遊びをしてもらう。大人は、公民館の輪投げをお借りしたり、ドッジボールを危なくないようにやったりして過ごす。9時ぐらいから体育館で軽スポーツ等をして遊んで、10時か11時ぐらいになったら解散にし、おやつと飲み物をもらって帰ってもらうというような形で考えてみた。

今日はこの「保倉歩こう会」に、「地域活性化の要素を盛り込むアイデア」として、企画内容を練るためグループ協議に入りたいと思っている。今考えている内容はこの程度なので、皆さんの考えや意見は、この後のグループ協議の中で出していただければありがたい。

この後のグループ協議については、二つのグループに分けようと思う。概ね30分程度でいかがか。意見を出せるだけ出して、煮詰まらなくてもいい、このアイデアが出たということだけでもいい。7時ぐらいになったら一旦グループ協議をやめて、どんな話が出たのか要点を聞かせていただいてお互いに知り合う。グループ協議、自主的な審

議は、そのように進めたいと思うがよいか。

では、早速グループ協議に入る。

－ グループ協議 －

【神村会長】

それぞれのグループでの話し合いの報告に入る。

私から、こちらのメンバーで話し合った中で、出てきた内容について報告させていただく。

小さい子供から歩き慣れている方まで一緒に歩くと、歩く速さがかなり違うと思う。家族で参加される方は、小学校に上がっていない幼児も参加するかもしれない。そうすると、歩けなくなったり、時間もかかるだろうという話が出た。福祉車両を借りて最後尾についてもらい、歩けなくなった家族については、福祉車両で学校まで戻ってもらい、そこで帰ってもらう。

それから、劔神社まではなんとか行けるだろうが、時間によっては汚泥リサイクルパークまで行けない可能性もある。午前中の計画であり、お昼ご飯も持っていないので、場合によっては、小泉を通過してそのまま学校に戻るような形にならざるを得ないことも考えられるだろうということで、健脚の方と駒林の劔神社で二手に分かれ、リサイクルパークまで歩いて学校まで戻るグループと、リサイクルパークには行かずになんとか学校までに戻るグループになるかもしれないというような話も出た。

劔神社で参加者にお祓いをしてもらったかどうかという話が出た。せっかく行くので、当日は宮司にお願いし、衣装を着ていただいてお祓いをしてもらい次に進むというようなことがあってもいいのではないかという話も出た。

長岡を通過する際には、歴史的なお屋敷等の話を長岡町内会長から説明してもらうなど、そういったことも加えていくと、より意義深いウォーキングになるのではないかといった話が出た。

参加者を増やすためには、基礎的な参加人数として、体育委員を含めてまちづくり振興会の役員が中心となって五、六十人、その方のご家族を含めて参加していただくことで、参加者を増やす。それから、各町内の役員にもできるだけ都合をつけて参加してほしいといった声かけをすれば、保倉2，400人の5%で120名の目標も達成できる

のではないかという話が出た。

【中島委員】

私たちのグループの意見として発表させていただく。

まず、「楽しく歩こう」については、神村会長と同じく、コースは無理がある人もいるのではないかということで、A、Bに分けてはどうかという話も出たが、第1回目ということで、同一コースをまずやってみようということになった。その場合、足をけがする方や、捻挫をする方が出てくるかもしれないので、休憩も含めて各集落センターを開放する。それは、町内会役員がおられるので、町内会長の責任としてお願いする。集落センターに役員から常駐していただいて、歩けない方は小学校まで送っていただくということも考えてみた。集落センター開放は午前中のみであれば、無理がないと思う。

次に「保倉を知ろう」については、コースとして、小泉に養性寺という大きなお寺があり、鐘撞堂がある。お願いすれば、小学生や希望者限定で鐘を撞かせてもらえるのではないか。今聞いたところ、保倉地区でもお寺のない町内会が結構あるそうで、鐘を撞いたことのない小学生も大勢いると思うので、鐘を撞く体験をさせてあげたい。「保倉を知る」ためにも、養性寺の住職や劔神社の神主から簡単な説明をしていただければと思う。

たくさんの人に参加してもらうために、少し言葉は悪いが「お駄賃」を用意する。これは、保倉地区ではなく各町内会で準備すればよいという意見も出た。

最後に、アナウンス、周知がやはり大事だと思う。先ほど、神村会長からのぼり旗の話があったが、私は賛成する。第1回目なので、各町内会長はのぼり旗を背負って歩いたらどうか。これは、広報も兼ねて、周知を徹底する意味ではいいと思う。

私たちのグループの意見は、以上である。

【神村会長】

とても広がったと思うし、また、楽しみな部分が増えたのではないかと感じた。

今日のグループ協議はこれぐらいにさせていただいて、また、別の方々と話し合いながらこの話は深めていければと思う。

それでは、事務局から進めていただいてよいか。

【丸山主任】

- ・資料No.1 「【今後の自主的審議の進め方】保倉区地域協議会 意見交換会・視察勉強会について」に基づき説明

以前から自主的審議は、テーマを決めて話し合っていくとお話しているが、もう少し地域の課題や情報をほかの方からも話を聞いて、意見交換しつつ、地域を見つめながら自主的審議のテーマを今後決めていければと考えている。

【神村会長】

事務局の説明について、意見や質問を求めるがなし。

P T Aの方々との話し合いは、どうしても持たなければいけないだろうと思う。それは、歩こう会がいいのかどうかということも含めて、考えていかなければいけないと思っている。女性部会の方や、まちづくり振興会の方々とは、1月の新年会でも話を聞く機会を設けてみたいと思っている。幅広く地域を語る場を設けながら、この地域協議会で議論を煮詰めていければと思っている。

視察についても、皆さん嫌がらないで、なんとか1回はつき合ってもらいたいと思っているのでよろしくお願いします。今年度の活動は、それぐらいにさせてもらえればと思っている。

その他について、事務局何かあるか。

【丸山主任】

次回は報告事項として、農政課が担当している「地域農業の将来像を描く地域計画」を保倉区でも作らなければいけないということについて、事前に皆さんに報告する事項があるということである。

【神村会長】

農政課の話は聞くだけなので、我々は我々として、今日の双方のグループで話した内容をもう少し整理した上で、さらに具体化して、次回以降P T Aとの話し合いの持ち方等も話ができればとイメージしている。

- ・次回協議会：10月23日（水）午後6時から
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。